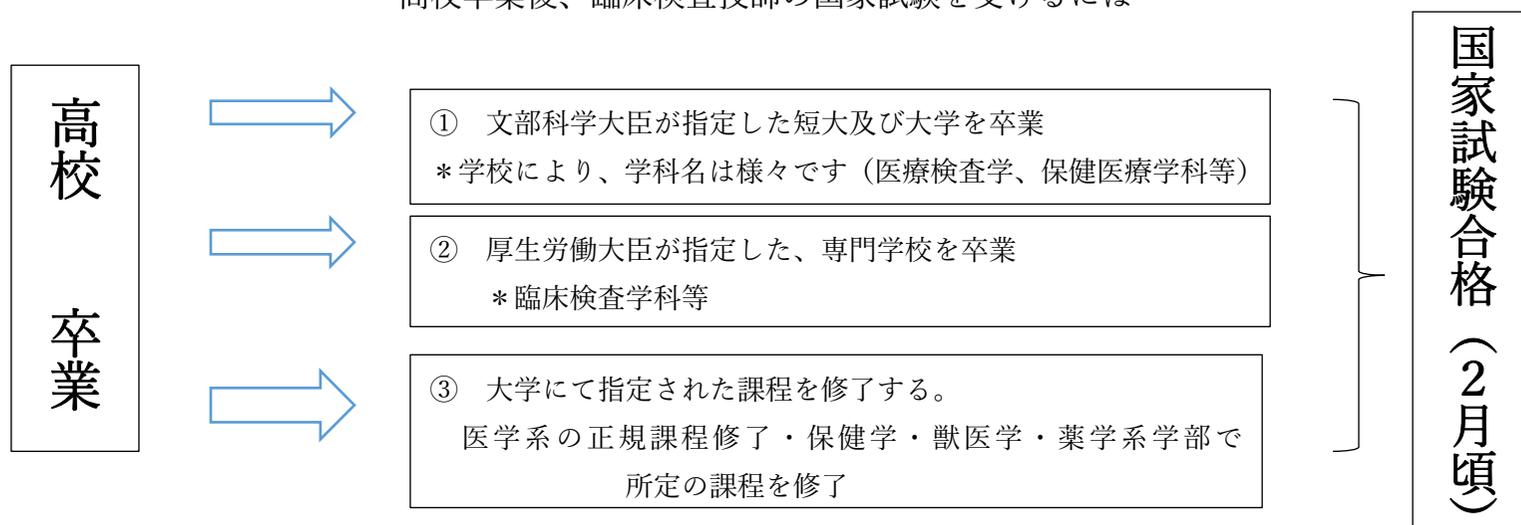


臨床検査技師についての紹介

臨床検査技師は、国家資格を有する医療専門職でホームページ上でも紹介したとおり、検体検査・生理検査・採血業務等を行っています。

ここでは、臨床検査技師になるための工程を紹介いたします。

高校卒業後、臨床検査技師の国家試験を受けるには



以上、国家試験を合格すると、臨床検査技師の免許を得ることができます。

○ 国家試験

年に1回、2月に北海道・宮城・東京・愛知・大阪・広島・香川・福岡・沖縄で行われます。

筆記試験の科目は、主に学校や実習で学んだ10の専門科目から出題され、マークシート方式です。

200点中で120点以上得点（6割程）できると合格となります。

○ 受験者数

過去4年間で4400~4800人程で、合格率は新卒・既卒を含め75.2%で新卒の合格率が高い傾向です。

○ 認定資格

臨床検査技師を対象とした認定資格は、主なものは次のとおりです。

一級・二級臨床検査士

緊急臨床検査士（日本臨床医学会）

細胞検査士・国際細胞検査士（日本臨床医学会・日本細胞学会）

認定輸血検査技師（日本輸血細胞学会）

認定臨床微生物技師・感染制御認定臨床微生物検査技師（ICMT）（日本臨床微生物学会）

認定血液検査技師（日本検査血液学会）

超音波検査士・超音波指導検査士（日本超音波医学会）

日本糖尿病療養指導士（日本糖尿病療養指導士認定機構）